

にしごう

聞こえのセルフチェック

聴力は40代から無自覚に衰えが始まります。聴力の衰えは自分では気づきにくく、知らず知らずのうちに難聴が進行しているということも少なくありません。

そこで、早めに気づくことができるよう、簡単にできる「聞こえのセルフチェック」をご紹介します。

【チェックリスト】

- 会話をしているときに聞き返す。
- 後ろから呼びかけられると、気づかないことがある。
- 聞き間違いが多い。
- 話し声が大きいと言われる。
- 見えないところからの車の接近に気づかない。
- 電子レンジなどの電子音が聞こえない。
- 耳鳴りがある。

【結果】

✓ 0個

現在の聞こえに問題はなさそうです。不調がある場合は耳鼻咽喉科を受診しましょう。

✓ 1~2個

実生活でお困りのことがあれば、耳鼻咽喉科を受診しましょう。

✓ 3~4個

耳鼻咽喉科で相談してみましょう。

✓ 5個以上

早めに耳鼻咽喉科を受診することをおすすめします。

※参考：一般社団法人日本補聴器販売店協会HP

聞こえにくさ(難聴)をほうっておくと…?

家族や友人とのコミュニケーションがうまくいかず、社会的孤立や自信喪失、うつ状態、認知症になる可能性がある。



近づいてくる自動車やバイクの音に気づかず、危険を察知することが難しくなる。



電話やドアのチャイムなど生活に必要な音が聞こえないなど、日常生活に支障をきたす。



難聴になると様々な社会生活に支障をきたします。そして、認知症のリスクが大きくなります。



65～74歳の3人に1人、
75歳以上の半数が
難聴に悩んでいます。



あなたの聞こえは大丈夫ですか？

『耳が聞こえないのは年齢のせい』

と決めつけず、**耳鼻咽喉科を受診**しましょう。



「聞こえにくいな」と感じたり、「聞こえてる？」と周囲から言われたりしていませんか？

耳鼻咽喉科を受診することで、耳の疾患や耳垢、加齢による難聴など「聞こえにくい」理由が明確になります。

また、加齢による難聴の場合は、聴力検査を行い、難聴の程度や補聴器が必要かを診断してもらうことができます。

西郷村『高齢者補聴器購入費補助金交付事業』のご案内

【対象者】 次の全てを満たす方

- ①65歳以上の方
- ②西郷村に住所があり、居住している方
- ③聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない方
- ④聴力レベルが両耳とも40dB以上70dB未満、又は片耳70dB以上で反対の耳が70dB未満の方
- ⑤医師から補聴器が必要だと診断された方
- ⑥村税等の滞納がない方

【助成額】 上限25,000円

※申請・決定前に補聴器を購入した場合は助成の対象外となります。購入前に下記窓口にご相談ください。

※集音器は助成対象外です。

【申請窓口】 西郷村健康推進課 高齢者支援係(保健福祉センター内)

TEL:0248-25-3910